

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.3.16  
第 1089 回放送分『子どもの食物アレルギー』3 回目  
ゲスト：吉川英樹ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは、  
「子どもの食物アレルギー」をテーマにお送りしています。  
お話は、鹿児島県医師会の吉川英樹（よしかわ ひでき）ドクターです。  
吉川さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

吉川英樹Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

先週は、アレルギーになりやすい体質の子どもが、成長するにつれて、さまざまなアレルギー疾患に順番にかかってくるアレルギーマーチのお話と、子どもの食物アレルギーの予防についてお話しいただきました。昔は、「アレルギーになるものは食べない、除去する」という予防の仕方だったのが、10年ほど前から変わり、今は、「早くから食べたほうがアレルギーになりにくい」という予防法になってきたとのことでした。今日は何についてお話しいただけますか。

吉川英樹Dr.

今日は、食物アレルギーになってしまった場合、子どもの食物アレルギーは治るかどうかについてお伝えします。  
まず、食物アレルギーのタイプとしては、即時型が多いです。

二見いすず

即時型というのは、その字の通り、すぐにアレルギー症状が出るという意味でしょうか？

吉川英樹Dr.

おっしゃるとおりです。  
2時間以内が多く、蕁麻疹やアナフィラキシーなどの症状が出ます。

二見いすず

これは、食べ物によって治りやすい、治りにくいというのがあるのでしょうか？

吉川英樹Dr.

あります。卵、牛乳、小麦は治りやすいです。  
一方、治りにくいのが、ピーナッツや木の実類、甲殻類、魚卵です。

## 二見いすず

卵、牛乳、小麦は治りやすいとのことですが、治りにくい食べ物と比べて、食べる機会が多いのでそこは少し安心できますね。

## 吉川英樹Dr.

そうですね。ピーナッツや木の実類、甲殻類、魚卵などはどちらかという嗜好品に近い感じもあるので、食べられなくても困る場面は、少ないかもしれません。

ただし、最近木の実類のアレルギーが増えてきており、小麦を抜いて第3位になっています。

## 二見いすず

第3位が木の実類なんですね。

ちなみに1番多いのは何でしょうか？

## 吉川英樹Dr.

1番多いのは卵、そしてその次が牛乳です。

## 二見いすず

治りやすいという卵、牛乳、小麦ですが、どのくらいの確率で治るのでしょうか？

## 吉川英樹Dr.

3歳までには半数の子どもが治ります。

卵に関しては、小学校までに8割治ります。

## 二見いすず

逆に治らない場合は、どのようなケースが多いのでしょうか？

## 吉川英樹Dr.

アトピー性皮膚炎のコントロールが悪いお子さんや、喘息のコントロールが悪いお子さん、また、アナフィラキシーになったことがあったり、血液検査でIgEというアレルギーの抗体の値が高かったりすると治りにくいです。

## 二見いすず

よく分かりました。

今月は「子どもの食物アレルギー」についてお伝えしています。

お話は鹿児島県医師会の吉川英樹ドクターでした。

吉川さん、ありがとうございました。

## 吉川英樹Dr.

ありがとうございました。